

報道関係各位

2014年7月17日

SDS試験の研究成果を共有し、技術向上を目指す 「第1回SDSカンファレンス」を実施

戸建住宅の地盤調査、地盤補強工事を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）は、次世代の地盤調査試験法「スクレイドライバーサウンディング試験（以下、SDS試験）」の普及や技術向上のため、SDS試験を実施している全国の地盤調査会社などを対象に、SDS試験の研究成果を報告する「第1回SDSカンファレンス」を、2014年6月5日に開催しました。

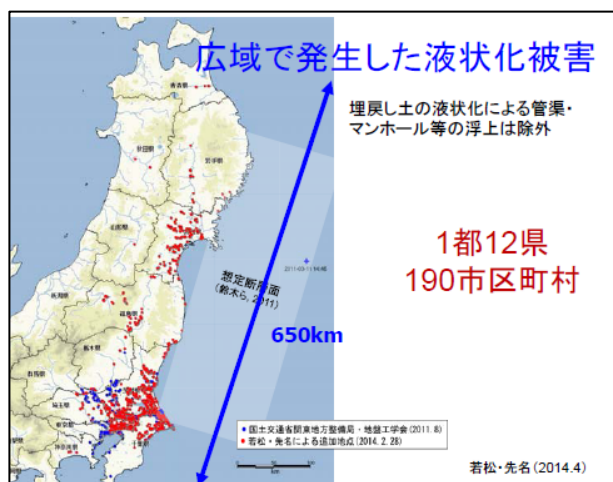
ジャパンホームシールドは、2006年から技術向上や研究を目的とした「SDS技術研究会」を定期的に行い、研究成果や課題を共有してきました。10回目を迎える今年、同研究会を「第1回SDSカンファレンス」としてリニューアルし、新たなスタートを切りました。



SDSカンファレンスの開催風景

当日は全国から計63名が参加し、最近発表された論文や海外でのSDS研究などを共有しました。

また、関東学院大学の若松加寿江教授が「東日本大震災の液状化被害とその土地条件」と題して講演を行い、大震災で発生した液状化の特徴や、過去の事例から分析した液状化が起きやすい土地などについて解説しました。SDS試験は液状化の簡易判定ができる試験として注目を集めていることもあり、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。



東日本大震災の液状化被害(若松教授の講演資料より)

ジャパンホームシールドは今後も、SDS試験をはじめとする高度な専門知識を活かして、安全・安心な住まいづくりをサポートしていきます。

SDS試験について

SDS試験は、現在主流の「スウェーデン式サウンディング試験（以下、SWS試験）」を進化させ、ボーリング調査に匹敵する精度で土質を調査できる試験方法です。ローム・砂質土・粘性土・腐植土・盛土など、SWS試験では分からなかった詳細な土質の判定ができます。土質を加味して地盤を評価することで不同沈下のリスクが低減でき、さらに、不要な地盤補強工事の削減にもつながります。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F

報道関係の方から：事業推進室 児新（コニイ）

TEL. 03 - 5624 - 1545

<ジャパンホームシールドは株式会社LIXILの子会社です>